

令和4年5月25日に公表した「令和3年度「食文化の無形の文化財登録等に向けた調査（手揉み製茶）」報告書」の一部において、掲載内容に誤りがございました。以下のとおり訂正し、お知らせするとともに、謹んでお詫び申し上げます。WEB ページに掲載されている資料につきましては、令和4年6月14日に更新を行い、全て修正が反映されております。

正誤表

頁	該当箇所		誤	正(追加を含む。)
4	表 1-1	「埼玉県」の項	(1項目)吉川作左衛門が製茶法を知るために痴愚の真似をして宇治の生産者のもとで製法を盗んだ。	複数の人物が製茶法を知るために宇治の生産者を訪れ、製法について情報を得た。
			(2項目)文化 7(1807)年	文化年中
			(3項目)金木郷	金子郷
		出典	(追加)	狭山茶の歴史 P.24-25
11	本文	17行目～「2つ目は」で始まる段落	(2行目)段位の取得を目指す者	指導者として必要な資格の取得を目指す者
			(3行目)段位には、基本として「師範」「教師」「教師補」があり、このうち「師範」と「教師」の受験者を対象とする。[中略]また「教師」の資格を取ったのち5年して「師範」受験の資格が得られるという規定がある。	資格には、「茶匠」「師範」「教師」「教師補」があり、基本的にはこのうち「師範」と「教師」の受験者を対象とする。[中略]また、「教師」の資格取得後5年経過(満40歳以上)して「師範」の受験資格が得られるという規定がある。なお、「茶匠」は「師範」の資格取得後7年以上経過(満50歳以上)し、匠の域に達した者を資格審査会が審査して決定する。
			(7行目)この段位とは別に、全国手もみ茶品評会において1等1席を獲得した会員には「茶聖」の称号が与えられ、1等1席を5回獲得した会員は「永世茶聖」を名乗ることができる。	(改行) ちなみに、この資格とは別に段位があり、初段から十段まで、それぞれ全国手もみ茶品評会の成績の積み重ねにより認定される。さらに称号として、同品評会において日本一(1等1席)を獲得した会員には「茶聖」の称号が与えられ、日本一を5回獲得した会員は「永世茶聖」を名乗ることができる(ただし、名乗るには「茶匠」の資格が必要となる。)
12	表 1-4	「主な事業」の(2)	[前略]段位には、「師範」「教師」「教師補」があり、このうち「教師」と「師範」の受験者を対象とする[後略]	[前略]資格には、「茶匠」「師範」「教師」「教師補」があり、このうち基本的には「教師」と「師範」の受験者を対象とする[後略]
16、23	表 1-6、 図	団体名	入間市手揉み狭山茶保存会	入間市手揉狭山茶保存会
24	参考文献リスト	「手揉み製茶技術に関する章節を含むもの」の項	(追加)※通し番号変更	史料で読み解く 狭山茶の歴史
29	本文 (③狭山)	1行目	狭山茶ゆかりの茶処	河越茶・慈光茶
		4行目	狭山茶の復興	茶作りの復興
		同上	(追加)	そして、現代の「狭山茶」に至る基盤が成立する。
37	本文 (③狭山)	12行目	(追加)	同館では開館以来、狭山茶に関する調査研究の成果を発表する特別展も数多く開催している。近年では、令和元(2019)年に特別展「史料で読み解く狭山茶の歴史」を開催した。(改行)
		13行目、16行目	お茶大学	アリットお茶大学
44	表 4-1	問3の数値(埼玉県)	2	4
		問3の数値(計)	59	61
		問4の数値(埼玉県)	1	2
		問4の数値(熊本県)	2	3
		問4の数値(鹿児島)	2	3
		問4の数値(計)	63	66
46、52	表 4-3、 ①の表	(国指定等文化財)有形文化財(建造物)埼玉県「旧和田家住宅(クロスケの家)」の所在地	入間市	所沢市
48、57	表 4-3、 ①の表	(市区町指定等文化財)無形文化財(工芸技術)埼玉県の文化財名称	手もみ狭山茶	手揉狭山茶
48	③の本文	3行目「2018年以降に取組がある(進行中、計画中含む。)」の回答数	21府県(59件)	21府県(61件)
49、59	表 4-4、 ③の表	展示	(追加) ※回答数変更	特別展「史料で読み解く狭山茶の歴史」、常設展示「茶の世界」
50	④の本文	2行目「ある」の回答数	24府県(65件)	24府県(66件)
		3行目 うち施設の回答数	18件	19件

51、62	表 4-5、④の表	団体名	手揉狭山茶保存会	入間市手揉狭山茶保存会
57	①の表	埼玉県 <small>の項の概要</small> 1 行目	保持団体は手揉狭山茶保存会。	保持団体は入間市手揉狭山茶保存会。
51、64	表 4-5、④の表	展示施設、製茶資料展示施設	(追加) ※回答数変更	入間市博物館
59	③の表	展示のうち、埼玉県	(追加)	企画展「お茶を楽しむ」及び冬期企画展「狭山茶と狭山の食文化」の概要の末尾に「等」を追加
64	④の表	区分名	製茶資料展示 <u>験</u> 施設	製茶資料展示施設